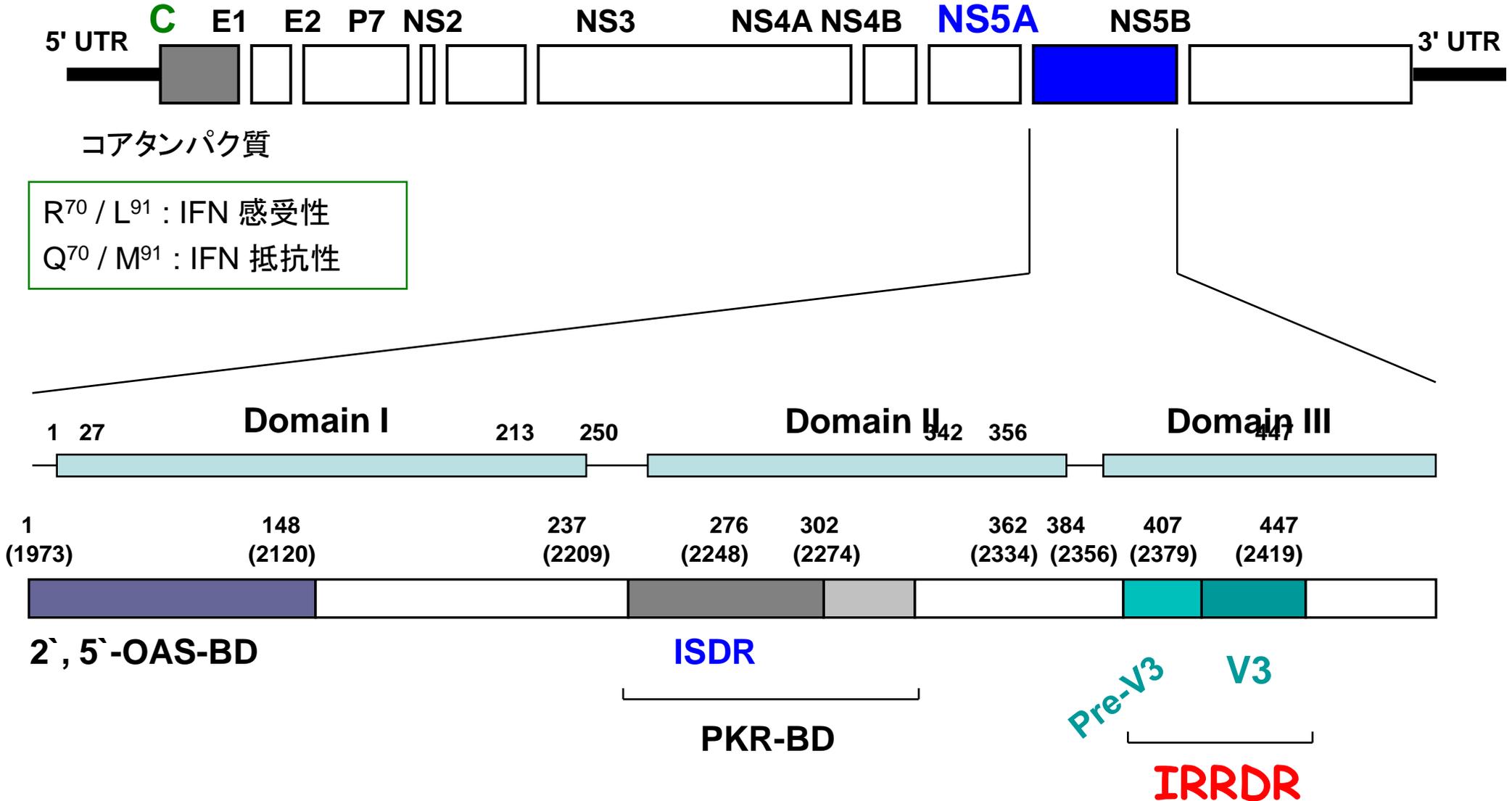


HCV-1b、-2a、-2b のPEG-IFN/RBV治療応答性に関連するウイルス側因子



今後の肝炎等克服緊急対策研究事業の方向性は？

肝炎等克服緊急対策研究事業

肝疾患医療を発展させる
基盤となる肝炎研究をより一層推進！

肝炎対策基本指針*

- ・ 肝炎に関する調査及び研究に関する事項
- ・ 肝炎医療のための医薬品の研究開発の推進に関する事項 等

※肝炎対策基本法(21年法律第97号9条2項)に基づき、
今後厚生労働大臣が策定予定。

- ウイルス性肝炎の
治癒率上昇
- 肝硬変・肝がんによる
死亡者の減少

肝炎研究 7カ年戦略

- 肝疾患病態別のキャリア数推計の把握
- 標準的な肝炎治療法等の確立
- 新規治療薬の開発に資する研究の推進
- 肝硬変に対する根治治療技術の開発
- 革新的な肝がんの早期診断・治療技術の開発 等

- B・C型肝炎ウイルスの推定持続感染者*
→ 全国で300～370万人
- 肝硬変・肝がんによる死亡者数**
→ 全国で年間約4万3千人

- ・ 国内最大の感染症
- ・ 肝がんへと進展

※1 平成16年度厚労省研究班報告書(吉澤班)より推計
※2 平成20年人口動態統計(確定数)の概況より推計

肝炎等克服緊急対策研究事業の今後の展開

- ・肝炎研究7カ年戦略の評価と見直し
- ・肝炎対策基本指針等の趣旨を踏まえた研究の推進
- ・感染予防ワクチンと発症予防ワクチン
- ・薬剤耐性ウイルスへの対応
- ・シチュエーション別の肝炎対策ガイドラインの作成
- ・急性のみならず、持続感染者の把握方法の検討
- ・ウイルスとの共存、心理的ケア